

令和2年度予算

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第1回となります本日は、令和2年度予算について、お話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いいたします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 令和2年度の予算のうち、市役所の基本的な業務に関わる一般会計予算は、過去最大の規模となる、380億5千万円となったと伺っています。

では、予算を編成する上での基本的な方針はどういったものだったのでしょうか。

市長： まず1つ目に、「世界を魅了するガーデンシティと 新たな時代に向けた賑わい・活力あふれるまちづくり」、

2つ目に「元気で活発な市民を育むスマートウエルネスの推進と 未来へつなぐ教育・文化の充実」、

そして最後に「コミュニティのきずなでつくる 地域の安全・安心な暮らしと 優しさあふれる子育て・福祉の推進」という3つの基本方針を掲げました。

アナ： この3つの基本方針にはそれぞれどのような事業が予定されているのか、主なものを教えていただきたいと思います。まず1つ目の柱「世界を魅了するガーデンシティと 新たな時代に向けた賑わい・活力あふれるまちづくり」について、教えていただけますか。

市長： 皆さんご承知の通り、東京2020オリンピック・パラリンピックが延期となりましたが、十分な準備期間ができたことと延期を前向きに捉えて、三島市のガーデンシティの取り組みを世界にPRできる絶好の機会をさらに充実したいと考えております。

通常のガーデンシティの取り組みに加えまして、あらためて大会の開催が決定した際には三島駅北口のポケットパークに立体花飾りを設置し、さらなる「おもてなし」空間を創出するなど、三島のホスピタリティを最大限に発揮してまいります。

また、三島駅南口東街区再開発につきましては、「広域健康医療拠点」としての整備に向け、事業計画の作成を行う準備組合や事業協力者と連携して着実に推進いたします。

アナ： 新型コロナウイルス感染症の拡大が一刻も早く終息し、三島市に多くの観戦客が来訪することを心待ちにしています。次に、2つ目の柱「元気で活発な市民を育むスマートウエルネスの推進と 未来へつなぐ教育・文化の充実」には、どのような事業があるのでしょうか。

市長： 第二の柱では、今年度、三島市を含め105の自治体が加盟している「スマートウエルネスシティ首長研究会」の全国会議が三島で開催される予定となっております。

ます。健康施策に熱意ある首長が全国から集まりますので、「健幸都市みしま」の先進的な取り組みをPRするとともに、各市の取り組みを情報共有していきたいと考えております。

また、利用者からの要望も多くありました、南二日町グラウンドの人工芝を張り替えるなど、安全・快適にスポーツ施設を利用できるよう整備・改修を行ってまいります。

教育・文化の充実につきましては、国の「GIGAスクール構想」を受け、市内全ての公立小中学校においてICT環境の更なる整備や部活動指導員の増員などを実施するほか、令和元年度に引き続いて市民文化会館の大規模改修工事を進め、10月1日のリニューアルオープンを目指します。

アナ： 3つ目の柱「コミュニティのきずなでつくる地域の安全・安心な暮らしと優しさあふれる子育て・福祉の推進」では、どのような支援策を盛り込まれたのでしょうか。

市長： 就労と子育ての両立を支えるため、余裕教室を改修し沢地小学校と中郷小学校の放課後児童クラブの定員を増やします。

高齢者福祉といたしましては、県内でもはじめての取組となる「認知症高齢者等個人賠償責任保険」に市が加入し、認知症の方が起こした事故による損害賠償責任に対して1億円を限度として補償することで、認知症の方が外出することへの不安を和らげます。

また、全国的に問題となっている空き家対策として、「空き家の適正管理等支援可能性調査」を地元自治会や民間団体と協力して実施するほか、県内初の取組として、管理不十分な空家を増やさないよう、相続が原因で登記が行われていない空家を売却する意思を示した当事者の相続登記を支援する「空家等対策事業費補助金」を創設してまいります。

これら3つの方針に掲げました事業を、チーム三島一丸となって取り組むことにより、新たな希望に向かって持続的発展を図ってまいります。

アナ： ありがとうございました。市長が掲げる「美しく品格のあるまちづくり」、「人もまちも産業までも健康で幸せなまちづくり」が、広く国内外に発信され、三島市の魅力を知っていただけることと期待しております。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。